

ノーザンレイクの第2回クラウドファンディングにおける

メイショウドトウの画像使用に関する共同声明

日頃より、認定 NPO 法人引退馬協会ならびに合同会社ノーザンレイクの活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、ノーザンレイクが実施する第2回クラウドファンディングにおける、引退馬協会の所有馬メイショウドトウの画像使用を含む協力について、両者で協議を重ねてまいりました。今回の判断に至った経緯と、今後の両者の関係について、皆様にご説明申し上げます。

これまでの経緯について

引退馬協会とノーザンレイクは、引退馬たちの命を守り、安心して穏やかな余生を送ることのできる環境を整えたいという共通の思いのもと、これまで協力関係を築いてまいりました。ノーザンレイクによる日頃の飼養管理を通じて、引退馬たちが安心して暮らせる環境づくりの重要性を共有し、連携を図ってまいりました。

2025年10月から12月にかけてノーザンレイクが実施した第1回クラウドファンディングは、老朽化により倒壊のおそれがある厩舎の建て替えをはじめ、馬たちが安全に暮らせる環境の整備を目的としたものでした。こうした取り組みは、両者が掲げる引退馬福祉の理念に沿うものであることから、引退馬協会は、所有するメイショウドトウの画像使用の許可や応援メッセージの提供などを通じて協力いたしました。

第2回クラウドファンディングへの対応について

一方、今回の第2回クラウドファンディングは、「土地の取得」を目的とするものであり、前回の厩舎建て替えとは資金の使途や性質が異なります。

ノーザンレイクが、馬たちの将来を見据え、より安定した飼養環境を確保しようとする趣旨については両者で理解を共有しております。しかしながら、土地の取得は、その所有形態や取得後の利用方法等によっては、特定の個人または法人の資産形成につながる可能性があることから、引退馬協会としては慎重な判断が必要であると考えました。認定 NPO 法人である引退馬協会には、特定非営利活動促進法に定められた認定基準を遵守し、公益性と適正な法人運営を確保する責任があります。

そのため、今回のクラウドファンディングへの協力が、同法に定める「特別の利益の供与」に関する規定に抵触するおそれがないか、所轄庁や顧問弁護士への相談も踏まえ、慎重に確認・検討を重ねてまいりました。

その結果、引退馬協会における認定 NPO 法人としての適正な運営と公益性を確保する観点から、今回のクラウドファンディングについては、メイショウドトウの画像使用などの協力を見送ることといたしました。また、第 2 回クラウドファンディングの実施期間中は、ノーザンレイクの SNS においても、メイショウドトウの画像を使用した投稿を控えることといたしました。これらの方針については、両者で協議を重ね、確認・合意しております。

なお、今回の判断は、ノーザンレイクによる土地取得やクラウドファンディング自体に法令上の問題があることを意味するものではありません。あくまでも、引退馬協会が認定 NPO 法人として遵守すべき基準と、その立場に伴う責任を踏まえた判断であり、この点についても両者で認識を共有しております。

今後の両者の関係について

引退馬協会とノーザンレイクは、引退馬たちの命とくらしを守り、穏やかで幸せな余生を支えたいという共通の思いのもと、これまで協力してまいりました。

今回、引退馬協会による協力を見送ることとなりましたが、この判断は、ノーザンレイクの活動や取り組みを否定するものではなく、両者の信頼関係に変化が生じたことによるものでもありません。両者は、それぞれの立場や役割、果たすべき責任を尊重し、今回の判断に至った事情について相互に理解を深めてまいりました。

引退馬たちの命を守り、安心して暮らせる環境を支えていきたいという思いは、これからも変わることはありません。今後も、互いの立場を尊重しながら、引退馬たちの福祉の向上という共通の目標に向けて、それぞれの役割を果たし、引き続き良好な関係を築いてまいります。

皆様におかれましては、両者の活動に対し、今後とも温かいご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2026 年 10 月 29 日

認定 NPO 法人 引退馬協会
代表理事 沼田恭子

合同会社ノーザンレイク
代表社員 佐々木祥恵
牧場長 川越 靖幸